

楽エコ

①捨てる前に考える。
5つの「R」のある暮らし

気候変動など地球の異変を肌で感じつつも「温暖化対策で自分に出来ることはあまりない…」と思っていませんか?楽エコは、日々の暮らしをエコの視点で振り返り、ちょっと意識して生活してみる、そんなきっかけをつくる楽しく気軽なエココラムです。

ごみを減らすとどうしてエコになるのでしょうか。私たちが使っているものは、すべて地球の大切な資源からつくられています。資源を集め、ものをつくり、運び、私たちの手元へやって来るまでにたくさんのエネルギーが使われています。そして、最後にごみになると、それを処分するためにもエネルギーが必要です。

大量生産、大量消費、大量廃棄の流れは、豊かな生活ではなく、エネルギーのむだづかいなのです。ごみを減らすということは、不要なものの流れをなくし、エネルギーのむだづかいをやるということにもつながるのです。

ごみ減らしのポイント 3R + 2R

Reduce (減らす)

Reuse (再利用)

Recycle (再生利用)

Refuse (断る)

Repair (修理する)

ごみ減らしのアイデアを
教えてください!



講師 澄川千恵子さん
出雲市ゴミ減量化アドバイザー
公益財団法人日本生涯学習協議会
(所管、内閣府)
トールベント技能認定本部講師

澄川千恵子先生 考案 is米袋エコマイバッグ!!

出雲市ゴミ減量化アドバイザーとして県内各地で活躍されている澄川千恵子さんを講師に迎えて、「is米袋エコマイバッグ講習会」を行いました。



中のお米を美味しくいただいて空になった米袋。普段なら捨ててしまうこちらが今回の主役!



米袋に使われているヒモも大事な材料



この講習会は推進員の企画ワークグループで実現しました。推進員ワークグループに関するお問い合わせはエコサポしまねまで



丈夫でかわいい!

地球温暖化防止活動推進員って何だろう?

「しまねエコライフサポートセンター・エコサポしまね」は、県民の皆さんのエコライフを応援し、家庭の省エネを通して、地球温暖化防止につながる、「エコのタネまき」を応援しています。その普及啓発を一緒に行う推進員のことについて、ご紹介します。

地球温暖化防止活動推進員ってなに?

「地球温暖化」を「防ぐいろいろな活動」を「進めていく」人たちです。

いわば、地球防衛隊。普段の生活の中でできる地球を守るエコなことを実践し、みなさんに伝えるボランティア活動をしています。

どうすれば、推進員になれるの?

熱意のある人なら誰でも活躍できます。

「推進員になって活躍したいっ!」という人は、まずは、お住まいの市役所や町村役場へ!環境を担当する部署が窓口になっているので、ご相談を。

どんな活動をしているの?

「地球温暖化」のなぜ?なに?を知って考える手助けをしています。

幼稚園で読み聞かせをしたり、地域での勉強会を企画したり、温暖化防止のキャンペーンに協力したりして、地域の方に温暖化防止を呼びかけています。



エコについて楽しく学べる読み聞かせ



温暖化防止の街頭啓発



保育園でのエコバッグ作り

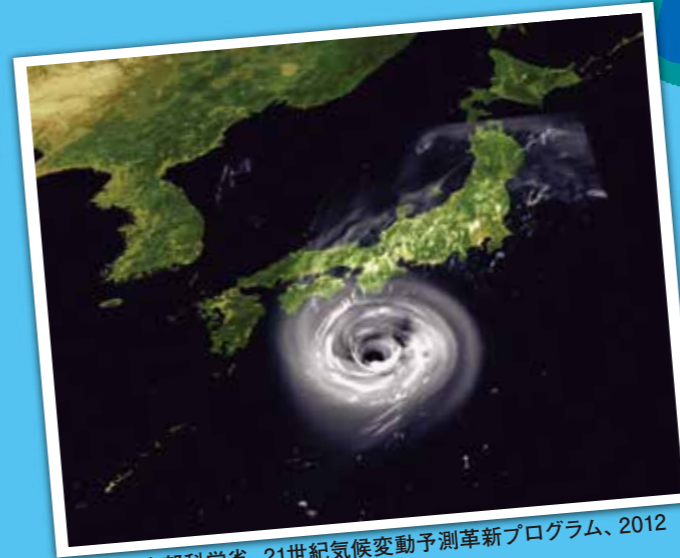
しまねではじめる、エコ活動。

エコま

なんかへん!?



●しまねエコ応援団!!
(エコアクション21)
西日本三菱自動車販売株式会社
●楽エコ
①捨てる前に考える。5つの「R」のある暮らし。
●ふろく どくなつちよ?しまね
数字でみる地球温暖化



特集 天気なんかへん!?

気象庁 松江地方気象台 調査官 原田延明さん

気候モデルが予測した将来の台風

温暖化に伴う台風の将来予測のシミュレーション結果では、21世紀末頃には、日本に上陸する直前でも中心気圧が880hPa以下、最大風速が70メートルを超えるような極端に強い台風の襲来が予測されています。ちなみに、今年(2014年)発生した台風11号が九州南部に近づいたとき(8月9日朝)の勢力は、中心気圧950hPa、最大風速40メートルでした。

出典:文部科学省、21世紀気候変動予測革新プログラム、2012



しまねエコライフサポートセンター
エコサポしまね
島根県地球温暖化防止活動推進センター
公益財団法人しまね自然と環境財団松江事務所
島根県松江市殿町8-3(タウンプラザしまね2階) TEL0852-67-3262
FAX0852-67-3787
<http://nature-sanbe.jp/eco/>



しまねエコビレッジ
▶パソコン・モバイル・スマホで、今すぐアクセス!
<http://www.eco-shimane.net/>



しまねエコビレッジ 検索



天気なんかヘン!?

「異常気象」という言葉がすっかりなじみ深くってしまい、もしかしたらあと数年で「異常」ではなくこれが「通常」になってしまうかも…?みなさんが普段肌で感じている気象に関する「異常!?!」=「なんかヘン!?!」のホントのところを気象のプロに聞きました。



気象庁 松江地方気象台 調査官 原田延明さん

なんか暑い!?

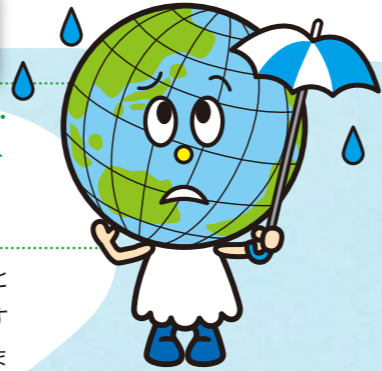


昨年(2013年)高知県四万十市で日本の観測史上最高気温である41℃が記録された。連日猛暑日のニュースが伝えられる夏、昔のように雪が降らなくなった冬。私たちが体感する気温の上昇の実態は?

2013年までの100年間の年平均気温の変化をみると、世界的には約0.69℃、日本では約1.14℃の割合で上昇しています。島根県のデータとしては同じ期間に、浜田市で1.10℃の上昇となります。ただ最高気温はというと、松江市の記録は第1位が1994年8月*の38.5℃で、これは20年間破られていません。また、最高気温トップ10のうち、2000年以降に観測された値は3個と、意外にも少なくなっています。一方で先ほどの平均気温は上がり続けているという事実から、1日中暑く夜になっても気温が下がらない、という「体感」とは通じることがあるかもしれません。

* 1994年夏の猛暑 春から全国的に高温、少雨が続き、給水制限や断水を行った都道府県は40に及んだ。

なんか多い!?!少ない!?!

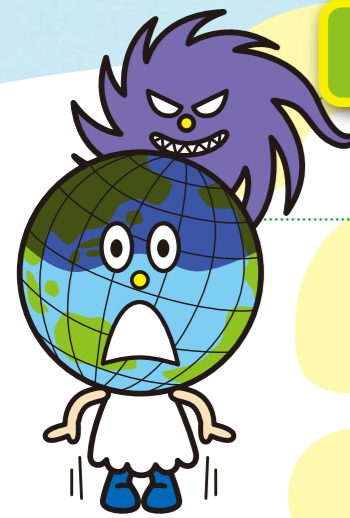


昨年は7月と8月に、島根県西部で大雨による甚大な被害が出た。これが集中豪雨か…と、身近に危険を感じた方も少なくないのでは。一方で梅雨なのに雨が降らないなど水不足が心配になる年もあったり…。いったい最近の雨はどうなっているの?

浜田では、日降水量1mm以上の年間日数がこの100年間で約15日減少しており、松江でも同じような傾向となっています。これは弱い雨も含めて、雨の降らない日が増えていることを示します。一方、大雨の発生頻度ですが、全国分のデータを集計した結果によれば、日降水量100mm以上の日数は長期的に増加する傾向にあります。また、統計期間が38年と短いですが、アメダス*の観測による1時間50mm以上の短時間強雨の発生回数にも増加傾向が現れています。このように、近年は、大雨の頻度が増える反面、雨の降らない日も増えているという特徴があります。

* アメダス (AMeDAS) [Automated Meteorological Data Acquisition System: 地域気象観測システム]の略。雨、風、雪などの気象状況を時間的、地域的に細かく監視するために、降水量、風向・風速、気温、日照時間、雪の観測を自動的に行う。1974年11月1日から運用を開始し、現在、降水量を観測する観測所は全国に約1,300カ所。

なんか強い!?



今年の7月に発生し「過去最強クラス」と報道された台風8号。近年、台風の強さ、数に変化はあるの?

2013年でいうと、台風の発生数は31個と平年よりも多く、年間発生数が30個を超えたのは1994年以来19年ぶりでした。ただ、長期的にみると台風の発生数に明瞭な変化傾向はありません。さらに、台風の強さ*について、「強い」以上の勢力となった台風の発生数に今のところ変化はみられません。ただ最近の研究によれば、将来的には非常に強い熱帯低気圧の数は増え、熱帯低気圧に伴う雨は強くなる傾向があると予測されています。

* 台風の強さ 台風は赤道付近で生まれ、北上する。海面からの水蒸気をエネルギーに発達するので、海水温が高いと勢力の強い台風になる傾向がある。

なんかヘン!?!は温暖化のせい??

猛暑や大雨、台風…「なんかヘン!?!」は、やはり地球温暖化のせいなのでしょうか?

異常気象は、エルニーニョ現象*などの海洋の変動や偏西風の蛇行などが要因となることが多く、個々の異常気象を地球温暖化と結びつけるのは、なかなか難しいところです。しかし、地球温暖化が極端な気象現象の「起こりやすさ」を高めている可能性があります。

* エルニーニョ現象 太平洋赤道域の日付変更線付近から南米のペルー沿岸にかけての広い海域で海面水温が平年に比べて高くなり、その状態が1年程度続く現象。逆に、同じ海域で海面水温が平年より低い状態が続く現象はラニーニャ現象と呼ばれている。

なんかヘン!?!とどうやってつきあっていけばいい?

急な大雨や竜巻・雷など、予測が難しい現象から命を守るために私たちができることは?

TVやラジオの天気予報では、天気だけではなく、解説にも注目してみてください。「大気の状態が不安定」「1時間に50mm以上の非常に激しい雨が降るおそれ」などのキーワードには注意!外でも携帯端末から最新の気象レーダーや気象情報をこまめにチェックするといいです。同時に空の様子の変化などに注意し、積乱雲が近づく兆しを感じたら、川のそば、木のそばから離れ、丈夫な建物の中へ避難!また、お住まいの市町村が出しているハザードマップを利用して、自分の住んでいる場所ではどんな災害が起こりやすいのかを確認しておきましょう。



- 急な大雨・雷・竜巻が起こるかも!?
- 真っ黒い雲が近づいてきた
 - 雷の音が聞こえてきた
 - 急に冷たい風が吹いてきた
- 積乱雲が近づくしるし

しまエコ応援団!! No.1

しまねでエコを頑張るあなたを応援します

西日本三菱自動車販売 株式会社
松江市西津田町2-11-38 電話 0852-23-1511

生活に不可欠という点からも車と密接な関係にある島根県。その車と私たちを結びつけてくれる車両販売の場で奮闘する「しまエコ」な人に出会いました!

ずばり、西日本三菱自動車販売さんのエコな取り組みとは??



管理本部総務部次長 浅津 直幹さん

2007年から「エコアクション21」を認証取得しています。その中で環境活動方針と活動計画を細かく設定し、2013年度の温室効果ガスの排出量は取り組み開始当時の約6割程度まで削減できました!



事務所は徹底的に節電! 不要な照明OFF、夏場はエアコンの設定温度を28℃に。



低燃費のエコカーや電動車両を積極的にお客様に勧め、広めることも活動計画のひとつ。

「エコアクション21」って?

「エコアクション21」は、全ての事業者が環境配慮の取組を低コストで、手間のかからない管理体制で導入することができる環境省が策定したガイドラインに基づく認証・登録制度です。中小企業の「企業イメージの向上」「経費の削減」等に最適な環境マネジメントシステムです。



「エコアクション21地域事務局しまね」島根県中小企業団体中央会 松江市母衣町55-4商工会館4F 電話 0852-21-4809

「エコアクション21」に参加して、大変だったこと・よかったことはありますか?

取り組みが細かく地道な内容なので、担当者だけが意気込んでも初めは成果が出ませんでした。何度も呼びかけ、社員一人ひとりに「自ら進んでやろう!」と思ってもらえるよう努力しました。7年間という継続的な取り組みのおかげで、店舗の省エネ、環境美化だけでなく、家に帰ってからも節電や地域清掃を積極的に行うようになったという声もあります。エコの意識が浸透したと実感し、嬉しいです。

今後の目標とメッセージをお願いします。

今まで続けてきたことをコツコツ続けていくのと同時に、次のステップへ進むために何をやるか、模索中です。当店では、最新のエコカーの試乗体験を行っています。皆さんには、気軽にお店に立ち寄っていただき、ぜひその良さを実感していただきたいです。



エコドライブで見落としがちなのがエコ整備!プロの視点からアドバイスさせていただき、お客様と車のベストコンディションを目指します。



電気自動車の急速充電器は、24時間いつでも利用できます!便利なチャージカードもあるので、ぜひお問い合わせを。

ど〜なっちょ〜? しまね

〈数字でみる地球温暖化〉

最近100年間で、
何℃平均気温が
上昇したか。
(統計期間)



観測地

夏(6~8月の3ヶ月)
の平均気温が
最も高かった年と
その気温

+1.10
(100年間)



浜田
Hamada

2013年
25.9℃

+0.87
(50年間)
*1



2013年
26.2℃

松江
Matsue



松江の
サクラの開花日の
最近50年間で早まった日数

6.4日

+1.14℃
(100年間)



日本
Japan

+0.69℃
(100年間)



世界
World

二酸化炭素濃度
350 ppm →
395 ppm
*2

*1 松江の観測開始は1940年で、統計期間が100年に満たないため、50年あたりの変化量で示す。

*2 島根県付近(北緯35度、統計132.5度)の二酸化炭素濃度を、地球全体の濃度分布(推定)から算出した値。(1985年と2011年の数値。)

〈数字でみる地球温暖化〉

ど〜なっちょ〜?しまね

私たちの住んでいる地球には大気があり、その大気の中に水蒸気、二酸化炭素(CO₂)、メタンなどの温室効果ガスがあるため、地表の平均気温は約14℃に保たれています。ところが、最近、この平均気温が急激に上昇し、今後さらに上昇すると予測されています。これが地球温暖化です。

この地球温暖化によって、地球環境や身近な生態系にさまざまな悪影響が出ているといわれ、もっとも影響が大きいCO₂の削減による低炭素社会の実現に向けて様々な対策が求められています。

「ど〜なっちょ〜?しまね」では、世界的な問題である地球温暖化の現状を、地元・島根県の気候変動に関する数字からみていきます。

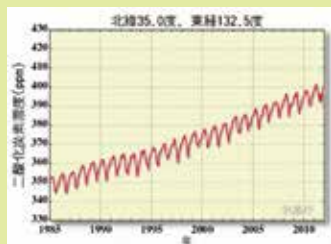
二酸化炭素濃度は?

島根県付近では、1985年の約350ppmから、2011年には約395ppmに。

人間活動に伴い排出される温室効果ガスにより、大気の温室効果が強まったことが地球温暖化の大きな要因として考えられています。なかでも、二酸化炭素は石炭や石油などの化石燃料を消費する際に大気中に大量に放出されるため、地球温暖化におよぼす影響が非常に大きい温室効果ガスです。

温暖化に関する観測データ、調査や研究論文などを検討する国連の機関であるIPCC(気候変動に関する政府間パネル)が2013年9月~2014年にかけて公表した第5次評価報告書(AR5)によれば、工業化(1850年頃)以前の大気中のCO₂濃度は280ppm程度でしたが、2011年には391ppmと40%も増加していて、少なくとも過去80万年間で前例のない水準にまで増加している、といっています。

気象庁は、世界各地で観測された二酸化炭素濃度データをもとに、計算モデルをもちいて地球の様々な地域における濃度分布を推定しています。それによると、島根県付近(北緯35度、東経132.5度)における二酸化炭素濃度推定グラフは下のようになります。



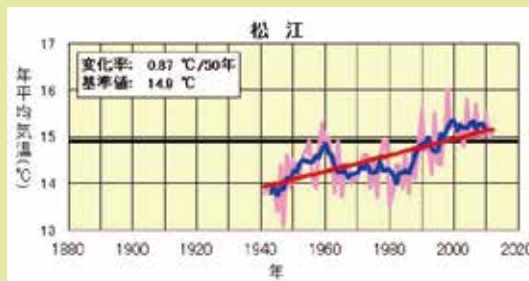
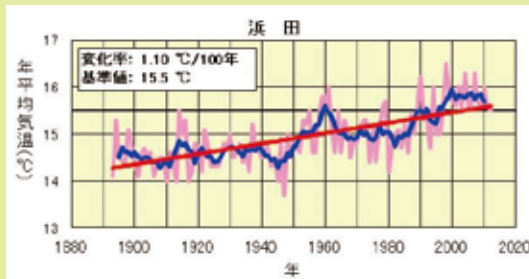
気温は?

松江では50年間で0.87℃、
浜田では100年間で1.10℃上昇。

IPCC第5次評価報告書によると、温暖化は疑う余地がなく、1950年代以降、気温や海水温、雪氷の量、海面水位などで観測された変化の多くは、数十年~数千年間で前例のないものである、としています。

気象庁は地球、日本、各地域規模の平均気温の長期変化を監視しています。それによると、年平均気温は2013年までの100年間で世界的には約0.69℃、日本国内では約1.14℃上昇しています。

島根県内では、松江地方気象台と、浜田と西郷にある特別地域気象観測所の3か所で長期間にわたる気象観測が続けられています。特に、浜田では約120年分のデータが蓄積されています。その結果、浜田市の年平均気温は100年あたり1.10℃の割合で上昇していることがわかりました。また、松江市では50年間で0.87℃上昇しています。

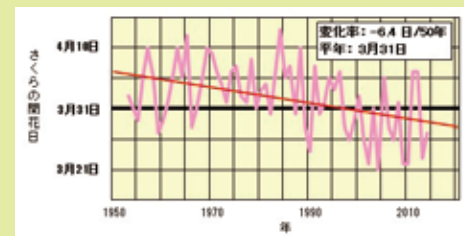


季節は?

松江のサクラの開花日は
50年間で6.4日早まっている。

地球温暖化の影響は自然生態系にも既に現れています。暖かい気候を好む昆虫の生息域の北への拡大、ブナなどの落葉広葉樹林の減少、日本海でのサワラの漁獲量の急増など、温暖化に伴う変化が各地で確認されています。

気象庁では、花の開花や動物の初見など、動植物の状態が気象によってどのように変化するかを調べる生物季節観測を、1953年から全国の気象台で行っています。松江地方気象台でも、植物ではサクラの開花、カエデの紅葉など12種目16現象、動物ではウグイスの初鳴、モンシロチョウの初見など14種目14現象について観測しています。この長期間の観測データを調べることで、気候の変化が生物に及ぼした影響を知ることができます。その中で、松江のサクラ(ソメイヨシノ)の開花日は50年あたり6.4日の割合で早まっていることがわかりました。これには、温暖化による気温の長期的な上昇傾向の影響が現れているものと考えられます。



もっと知りたい!

地球温暖化とその影響についてさらに詳しい情報を知るには...

◎気象庁ホームページ

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

「各種データ・資料」「知識・解説」ページから、気温などのデータや温暖化に関する説明を見ることができます。

◎大阪管区気象台ホームページ

<http://www.jma-net.go.jp/osaka/kikou/ondanka/ondanka.html>

身近な地域の気候変動について詳しい情報をまとめた

「中国地方の気候変動」(統計期間:~2012年)が公開されています。

◎松江地方気象台ホームページ

<http://www.jma-net.go.jp/matsue/index.html>

天気予報や注意報もこまめにチェックしましょう。